

輪番体制で支える

津市の救急搬送



平日昼間
(8時30分～18時)

119番通報

救急車出動

二次救急病院
または
三次救急病院

二次救急病院

手術や入院治療が必要な救急患者に対応する病院(市内12病院)

三次救急病院

複数の診療領域にわたる重篤な救急患者に対応する病院(三重大学医学部附属病院高度救命救急センター)

平日夜間
土・日曜日、祝・休日

119番通報

救急車出動

二次救急病院による
輪番体制
または三次救急病院

二次救急 輪番病院

- 永井病院
- 遠山病院
- 武内病院
- 岩崎病院
- 吉田クリニック
- 津生協病院
- 三重中央医療センター

受け入れが困難な場合
三重大学医学部附属病院
によるバックアップ



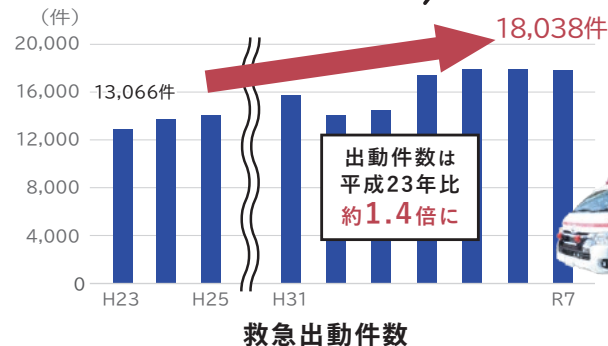
三重中央医療センターが
救急外来棟を開棟

令和6年4月に新設された救急外来棟は、同時に多くの救急患者を収容できる広い初療室に加え、CT装置とレントゲン装置が設置され、救急患者の受け入れ体制が強化されました。
令和7年には津市の救急搬送人員の約37%に当たる約5900人の救急患者を受け入れています。



受け入れ体制の強化で
迅速な搬送へ

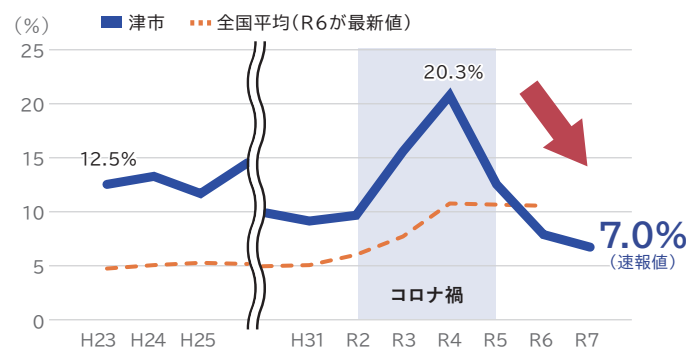
救急需要は増加するも…



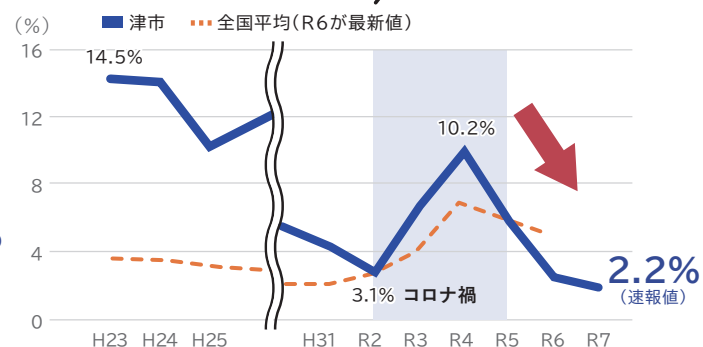
一刻を争う現場で
スムーズな搬送に
つながっています



令和6年4月からの三重大学医学部附属病院のバックアップ等により
現場滞在時間・病院照会回数が大幅に改善！



現場滞在時間30分以上の割合
(重症以上傷病者)



病院照会回数4回以上の割合
(重症以上傷病者)

救急医療を支えるために、皆さまのご理解とご協力をお願いします

- 緊急性がない場合は、通常の診療時間内に医療機関で受診してください。
- 救急車の適時・適切な利用が命を救う医療体制の維持につながります。
- 医療・健康の相談先に迷った時は、津市救急・健康相談ダイヤル24(☎0120-840-299)へ。



医療体制を支える 技術と仕組み

12誘導心電図 伝送システム

救急車内で測定した心電図を医療機関へ送信し、病院到着前から傷病者の状態を共有。心筋梗塞などへの迅速な治療につながります。



機動的救急隊 (M.O.A.)

平日の昼間、機動的に移動配備する救急隊を創設し、久居消防署、中消防署に配置。救急出動が多発した場合に、救急空白地域の発生を防いでいます。



ドクターカーと連携した 多数傷病者対応訓練

ドクターカーの医師と救急隊が連携訓練を実施。事故や災害で多くの負傷者が発生した場合に相互の連携を図り、迅速な医療対応を行います。



救急救命の スペシャリスト育成

令和5年4月から、三重大学医学部附属病院ハイブリッドワークステーションへ救急救命士を派遣。救命救急の専門スタッフの指導を受け、救急医療を支える人材育成を行っています。

